

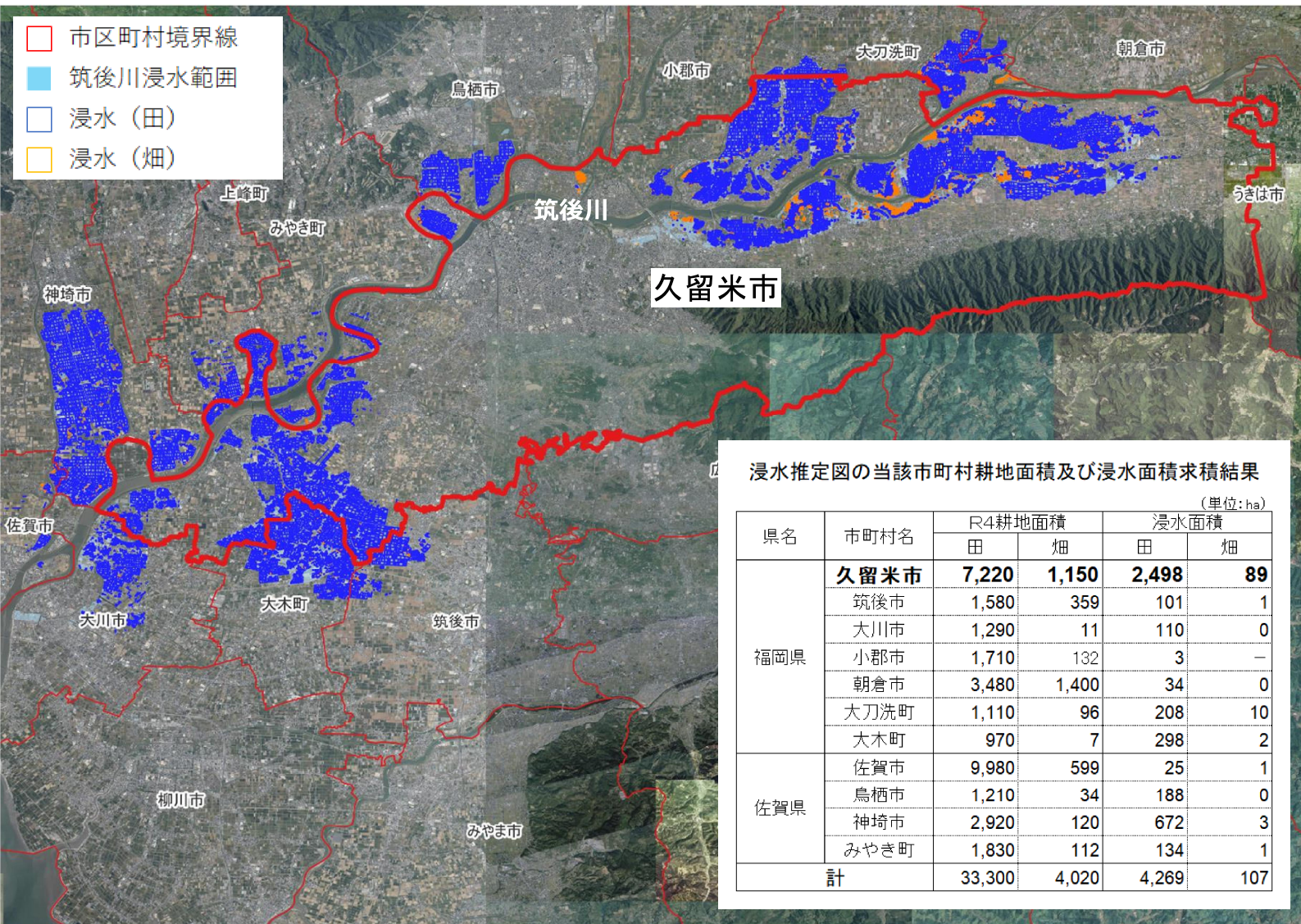
使ってみました

地域の農業を見て・知って・活かすDBの活用事例



近年、九州では線状降水帯や台風等の発生に伴い、河川の氾濫による農地等の浸水がみられますが、QGISと農林水産省公表データ（地域の農業を見て・知って・活かすDB、筆ポリゴン）等を用いて浸水した田・畑の求積が行えます。

筑後川流域農地の浸水状況（令和5年6月～7月10日までの大雨）



出典：国土地理院ウェブサイト（令和5年(2023年)6月29日からの大雨に関する情報 | 国土地理院 (gsi.go.jp)）
国土地理院の「地理院タイル」及び「浸水範囲の輪郭線」を加工して作成（縮尺：1/90,000）

<地域の農業を見て・知って・活かすDBとは>

農業集落（全国約15万）を単位として、農林業センサスの結果と各種情報とを組み合わせて農林水産省が独自に加工・再編成したデータを提供するものです。地域農業の現状をグラフや地図で見える化することや、国勢調査や行政情報と組み合わせて分析することができます。

活かすDBの利用方法や掲載データ等についてはこちらから

URL：https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/index.html



<QGISとは>

無償で利用できる「地理情報システム」のソフトウェアで、パソコンで空間情報を作成・保存・利用・管理・表示・検索等をおこなうことができます。

<筆ポリゴンとは>

GIS（地理情報システム）ソフトウェア等において利用可能な農地の区画情報データです。

農林水産省
九州農政局